

## 事後調査の結果

調査項目 : 環境保全のための措置の実施状況 (大気汚染、景観、自然との触れ合い活動の場)

## 1 調査方法

現地確認及び工事関係資料を整理した。

## 2 調査結果

## 2.1 大気汚染

評価書に記載した環境保全のための措置の実施状況に関する調査結果は、表 6-1 に示すとおりである。

表 6-1 環境保全のための措置の実施状況

評価書の記載内容	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械については、「排出ガス対策型建設機械指定要領 (国土交通省)」に基づいて指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械については、排出ガス対策型建設機械を使用しており、工事に伴う環境負荷軽減に努めた。(57～59 ページの<b>写真 1-2</b>、<b>表 6-2</b> 参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の平準化を図り、工事用車両等の極端な集中を避ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁部の工事で発生する工事用車両は人見街道を走行するため、一般部の工事で発生する工事車両が集中しないように配慮した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両については、最新の排出ガス規制適合車を使用するとともに、排出ガス浄化装置 (D P F 装置) 等を装着したものを使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事発注に際して、最新の排出ガス規制適合車を使用するとともに、排出ガス浄化装置 (D P F 装置) 等を装着したものを使用するよう施工業者に義務付けを行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>粉じんの飛散防止のため、工事用車両の荷台を防塵シートで覆う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉じんの飛散防止のため、工事用車両の荷台、仮置き建設発生土を防塵シートで覆う対策を行った。(写真 6-1 参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の車体やタイヤに付着した泥土等は洗浄する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の車体やタイヤに付着した泥土等は洗浄し、車両の出入口付近の清掃を行った。(写真 6-2 参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の駐車及び長時間の停車においては、アイドリングストップを厳守する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事発注に際して、アイドリングストップの厳守を施工業者に義務付けを行っており、着実な実施を図るべく、ドライバーに注意喚起を行った。(写真 6-3 参照)</li> </ul>

排出ガス対策型建設機械の使用状況は表 6-2 に示すとおりである。

表 6-2 排出ガス対策型建設機械の使用状況

工事 箇所	工種	作業 内容	建設機械	メーカー	型式	台数	排出ガス対策型 建設機械使用	
							オン ロード	オフ ロード
①	一般部 土工	舗装版等の 取壊し	バックホウ(0.1m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX-406E	1		○
			バックホウ(0.2m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX-505	1		○
②	一般部 土工	掘削・積込 み、敷き均 し	バックホウ(0.2m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX-505	1		○
			振動ローラ(3.6t)	コマツ建機	JV40CW	1		○
③	一般部 街築工	街きよ等の 設置	コンクリートポンプ車 (4t)	いすゞ	KC-CVR80	1	○	
			ミキサー車(8t)	三菱ふそう		1	○	
④	一般部 舗装工 (路床・路 盤工)	敷き均し、 転圧	バックホウ(0.2m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX-505	1		○
			振動ローラ(3.6t)	コマツ建機	JV40CW	1		○
⑤	一般部 舗装工 (舗装工)	敷き均し、 転圧	アスファルトフィニッ シャ(13t)	住友建機	HA60W5	1		○
			アスファルトフィニッ シャ(8t)	三菱重工	MF44WD	1		○
			振動ローラ(6.5t)	酒井重工業	SW650	1		○
			タイヤローラ(13t)	住友建機	HN220WHH	1		○
⑥	橋梁部 土工	舗装版等の 取壊し	バックホウ(0.2m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX-505	1		○
			バックホウ(0.1m <sup>3</sup> )	クボタ建機	RX406E	1		○
			振動ローラ(3.6t)	コマツ建機	JV40CW	1		○
⑦	橋梁部 上部工 (桁架設工)	主桁を架設	オールテレーンクレー ン(360t)	DEMATECS	AC360/GJ	1	○	
⑧	橋梁部 舗装工	敷き均し、 転圧	プレートコンパクタ (66kg)	三笠産業	MVC-F60	1		—
			アスファルトフィニッ シャ(8t)	住友建機	HB2045W	1		○
			コンバインドローラ (3.5t)	酒井重工業	TW502S-1	1		○

注) 公道を走行する車両(オンロード)は平成15年10月より、「道路運送車両法」により規制が開始されており、適合車両は「○」、不適車両は「×」とした。

公道を走行しない車両はオフロード法により使用規制が設けられており、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成18年4月1日施行)に適合した建設機械は「○」、対象外の建設機械は「—」とした。

工事用車両の荷台の防塵対策



工事区域内の仮置き建設発生土の防塵対策



写真 6-1 防塵シートで覆う対策

工事用車両のタイヤ洗浄



工事用車両の出入口付近の清掃



写真 6-2 工事用車両等の洗浄・清掃



写真 6-3 アイドリングストップを促す看板設置

## 2.2 景観

評価書に記載した環境保全のための措置の実施状況に関する調査結果は、表 6-3 に示すとおりである。

表 6-3 環境保全のための措置の実施状況

評価書の記載内容	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中に仮囲い等を設置する場合には、可能な限り現場周辺の景観と調和を図るなど、通行者に圧迫感や不安感を与えることのないように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中の敷地境界に設置する仮囲い等については、ネットフェンスを設置しており、通行者に圧迫感や不安感を与えやすい万能鋼板は用いなかった。(写真 6-4 参照)</li> </ul>



写真 6-4 ネットフェンスの設置状況

## 2.3 自然との触れ合い活動の場

評価書に記載した環境保全のための措置の実施状況に関する調査結果は、表 6-4 に示すとおりである。

表 6-4 環境保全のための措置の実施状況

評価書の記載内容	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>玉川上水の遊歩道に沿って、仮囲い等を設置する場合は、可能な限り玉川上水の水と緑と調和をはかるなど、利用者に圧迫感や不安感を与えないように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中の敷地境界に設置する仮囲い等については、これまで、ネットフェンスを設置しており、通行者に圧迫感や不安感を与えやすい万能鋼板は用いなかった。(写真 6-4 参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の平準化を図り、工事用車両等の極端な集中を回避する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事に際しては、橋梁部の工事、一般部の工事で工事用車両の走行ルートが重複しないよう調整した。</li> </ul>